

学校・家庭・地域が協働で谷地南部っ子を育む ～ スクール・コミュニティを目指して ～

第1回学校運営協議会開催！！

～ 委員の皆様方よりたくさんのご意見をいただきました ～

令和3年度からスタートしたコミュニティ・スクールも4年目を迎え、充実期に入りました。4月26日（金）に、第1回目の学校運営協議会を開催。校長の経営基本方針（案）に対し、たくさんのご意見とご要望をいただき活発な熟議となりました。河北町教育委員会より任命された方々のご意見・ご要望には大変な重みがあり、しっかりと学校経営に反映させていく必要があります。下記に熟議の骨子を記載しましたので、保護者並びに地域の皆様方もご一読いただき、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

【今年度の学校運営協議会委員（敬称略）】

山田 剛	会長・南部地区区長会代表	布川 雄二	元河北中校長、要害区長
青木 昌治	元本校 PTA 会長	海野 文雄	ござ～れ広場、SKIT かほく
布川 潤一	副会長・保護者代表（PTA 顧問）	三部 陽堂	保護者代表、宿用院
宮地 裕子	町教育委員会・地域コーディネーター	学校教職員（校長・教頭・教務主任）	

熟議骨子

①愛校心と郷土愛を育むために

（委員）ふるさとを愛する心は大事だと思う。子供たちの実態を見ると、地区や谷地にあるものは「ひなの湯」や「薬王堂」といった施設・店舗に限られている。近い将来1校になる可能性が高いことを踏まえ、自分の地区にあるもの（要害ならば薬師様）に目を向けさせていきたい。

（委員）郷土愛は、とても大事。河北町の魅力を我々青年世代がもう一度見つめ直して、子どもたちにどうやって知ってもらうかが非常に大事だと感じている。

（委員）地区毎にある歴史的なもの、今は無くなった文化的なもの、そういうものについて、今だったらどうするかということ掘り起こしてもらいたい。

（校長）郷土愛醸成のために学校でできることには限界があり、保護者並びに地域の皆様方のお力添えが欠かせない。

②学力向上と家庭学習改革について

（委員）基礎基本が非常に大事で、疎かにしないで欲しい。また、中学校はタブレットがまだなくノートで学習している。小学校でもある程度、ノートの書き方・タブレットの使い方など学習をするときの一番の基本的なやり方をしっかり教えて進めて欲しい。タブレットは非常に効果的だが、ノートやメモなども必要。

（教育長・委員）家庭学習改革は、とても良いと思う。昔は、宿題をたくさん出す先生が良い先生と評価される時代があった。子どもが興味関心を持てる宿題の在り方を考えたいし、効果検証を急がず、改革の1年後の成果に注目したい。

③子供たちの実態について

（教育長）現代っ子には、「しなやかさ」が足りないとつくづく感じる。すぐ感情的になり、折れてしまう。竹や柳のようなしなやかさを、もっともっとつけてあげたい。

（委員）学校に行けない子どもへの対応は、とても大事。学校に連れてくるという方向性はいいが、今はどこでも学習できる環境が整っているので、その子どもなりの育ちができるよう緩やかな育て方が大事。



活発な熟議の様子

熟議の中で、5年生に米作り体験学習の機会を作るための田んぼと指導者の情報をいただきたい旨、依頼をしたところ、早速、委員の皆様方のお力で田んぼと指導者の目途がつかしました。心より感謝申し上げます。